

国勢調査員になりませんか

5年に1度実施される国勢調査が、今年の10月に全国一斉に行われます。秋田市では、市内を約2,350の調査区に分けて調査を行うこととしており、この業務に携わる「国勢調査員」を募集しています。

報酬は、1調査区(50～70世帯)あたり約36,000円(世帯数によって変動)。1人で2調査区まで担当できます。調査を正確に行うため、ご協力をお願いします。

*調査員は、8月26日(水)から10月25日(日)まで非常勤の国家公務員となります。



おもな業務内容

- ▶事務説明会への出席(8月下旬～9月上旬)
- ▶インターネット回答の利用案内などの配布(9月中旬)
- ▶回答がなかった世帯への調査票の配布(9月下旬)
- ▶調査票の回収と提出(10月上旬～下旬)

応募要件(下記のすべてを満たすか)

20歳以上で、調査に責任を持って協力できる／調査内容の秘密を厳守できる／税務、警察、選挙に関係がない／暴力団などの反社会的勢力に関係がない／秋田市または調査が可能な近郊に住んでいる

応募方法

電話で国勢調査秋田市実施本部(情報統計課内)へご連絡ください。☎(866)1964
パソコン・携帯電話などから応募する場合は、市ホームページの「秋田市電子申請・届出サービス」からどうぞ。右上のQRコードもご利用ください。
ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/city/shinsei/>



日本の未来をつくる国勢調査



国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯(外国人を含む)が対象の、国が行う最も重要な統計調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするための調査です。

国勢調査の結果は、福祉施策や生活環境整備、災害対策など、日本の未来をつくるために欠かせないさまざまな施策の計画策定などに利用されます。



表紙のはなし♪

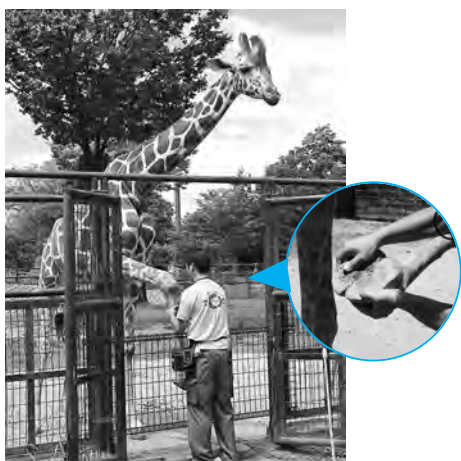
公園の散策が心地良い季節、みなさん足を止めて眺めたり写真を撮ったりとフジの花に夢中です。左の写真のサギも花に見とれて降り立ち?…ではなく、エサを探している様子でした。

- 3 市長コラム「命と命の絆」
- 4 歴史・文化・芸術を活かしたまちづくり
土崎・新屋まちづくり拠点施設整備計画
- 6 市役所からのお知らせ
…児童手当現況届は6/30まで、
秋田市職員の採用試験、
御所野児童センターが開館、
功労を称えて「住民活動賞」
- 10 上下水道の広場
…平成27年度予算、
公共下水道の早期接続を
- 14 歯と口の健康週間
胃がん検診、夕暮れ乳がん検診
- 16 育児コーナー
…乳幼児健診日程、育児イベント
子育てサービスの相談窓口
- 18 情報チャンネルa
…健康ライフ太鼓判!、
個人向け施設見学会、
6/14 新屋鹿嶋祭とPRイベント、
親子環境教室・ホテル観察会、
講座、催し、案内、健康
- 24 酒田市と交流提携

■編集発行＝秋田市広報広聴課☎018(866)2034
■〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号
■広報あきたは毎月第1・第3金曜日発行です。
公式ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/>
公式ツイッター <https://twitter.com/akitacity>
秋田市役所Facebookページ
<https://www.facebook.com/city.akita>

日々初心

市長コラム・日々初心
市長 ● 穂積 志(もとむ)



大森山動物園での「ハズバンドリートレーニング」の様子

命と命の絆 大森山動物園

日増しに緑の濃くなる季節です。今年のゴールデンウィークは、みなさんどのようにお過ごしでしたか？ 私は、陽気に誘われ大森山動物園に出かけてみました。

天候に恵まれ、ゴールデンウィーク期間中の入園者は約5万6千人で、昨年に比べ40%以上も増えました。特に最近では、全国各地からも多数来園しています。この理由について、施設の充実や飼育している動物の多さに加え、動物と来園者、そしてスタッフとのふれあいやコミュニケーションがよく理解されてきたからではないかと、私なりに考えています。

そんな折、西部市民サービスセンターで、この春、動物園の名誉園長に就任された女優の高木美保さんの講演会がありました。せっかくですから、高木さんに名誉園長をお願いしたきっかけをお話します。

芸短期大学長の石川好よしさんから、大森山動物園のイメージにピッタリの人がいると伺い、紹介されたのが高木さんでした。確かに高木さんは、動物の命や絆という事柄に深い思いがあり、また栃木県那須で自ら有機農業を手がけており、命、自然、食をテーマとする大森山の使命と共感・共鳴すると考え、迷わず名誉園長の就任をお願いした次第です。

さて、高木さんの講演会ですが、後半は2人の飼育員との対談形式に進められ、その中で非常に興味深い話がありました。

キリンは、牛やラクダ、鹿などと同じ偶蹄目の動物で蹄ひづめがあり、定期的にこの蹄を削る必要があります。他の動物園では、伸びすぎた蹄を削るのに、全身麻酔でやることがありますが、それでは命のリスクを伴います。これを大森山では、いわばキリンに「お手」をさせる格好でやっています。飼育員が根気

よく何度もエサで誘導するなどのトレーニングを重ねてキリンとの絆、信頼関係を築いたからこそできるようなったのです。こうした方法を「ハズバンドリートレーニング」と言うのですが、大森山動物園はこのことで、NPO法人市民ZOOネットワークの「エンリッチメント大賞2013」に輝いています。

他にも話題は尽きませんが、今年動物園入口にある蒸気機関車(SL)の化粧直しも計画しています。昭和46年に当時の国鉄から無償で借り受けたものですが、腐食も進んでいることから補修し、夏までにはその雄姿を披露できればと思っています。私はこのSLを見るたびに、当時展示に向けて尽力されたSL同好会のみなさんを懐かしく思い出している感謝しています。

そんな話題満載の大森山動物園、ぜひ足をお運びください。

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>